

休職期間満了時の復職可否判断

■休職期間満了時に起きるトラブル

メンタル疾患で休職中の従業員が復帰する際、休職事由が消滅しているかどうか、従前の職務を通常の程度に行うことができるまでに回復しているか否かが争われることがある。特に復職可能の診断書が休職期間の満了間際に提出される場合である。

主治医と産業医の意見が真っ向から対立することはあまりないが、微妙なニュアンスの違いがあることがある。法律的には、産業医の意見が優先されるが、下記のような注意が必要であり、そう簡単にはいかない。

■主治医面談の実施、慣らし勤務の活用（T事件、東京地裁令和6年9月25日判決）。

（中略）以下は、会員用ホームページに掲載。